

平成 27 年 12 月 21 日

練馬区教育委員会

教育長 河 口 浩 様

練馬区小中一貫教育推進会議

委員長 葉 養 正 明

練馬区小中一貫教育推進会議のまとめについて（報告）

練馬区小中一貫教育推進会議は、平成 25 年 11 月の設置以来、小中連携推進教員育成研修部会ならびに小中一貫教育校検証部会とともに、さまざまな小・中学校の状況に応じた小中一貫教育の進め方、小中連携推進教員の育成方法や研修プログラム、小中一貫教育校の教育活動の検証および小中一貫教育の評価手法について、検討を行ってまいりました。

このたび、小中一貫教育推進会議のまとめとして「練馬区小中一貫教育推進方針」、小中連携推進教員育成研修部会のまとめとして「連携クリエイター育成プログラム」、小中一貫教育校検証部会のまとめとして「小中一貫教育校大泉桜学園検証報告書」および「練馬区における小中一貫教育の評価方法について」を作成しましたので、別紙のとおりご報告いたします。

小中一貫教育は、義務教育におけるさまざまな課題の克服と教育の質の向上をめざして、複数の先進自治体において取組が始まりました。平成 27 年 6 月には学校教育法が改正され、新たな学校種として義務教育学校が規定されるなど、小中一貫教育をめぐる状況は大きく変わろうとしています。

小中一貫教育は、全国的にもまだ始まったばかりの取組であり、練馬区における小中一貫教育も発展途上にあると考えています。今回とりまとめた報告を活用し、練馬区教育委員会と学校が一体となってさらに小中一貫教育を推進していくことで、練馬区の義務教育がより質の高いものとなることを願っています。

◎練馬区小中一貫教育推進会議 検討経過

回	開催月日	主な案件
1	平成 25 年 11 月 19 日 (火) 午後 6 時半～8 時	○練馬区における小中一貫教育の推進状況 ○練馬区における小中一貫教育の考え方 ○検討スケジュール
2	平成 26 年 1 月 17 日 (金) 午後 6 時～8 時	○小中一貫教育の定義 ○小中一貫教育の必要性とめざすもの ○中学校への進学先と小・中学校の組合せ ○施設一体型と施設分離型における具体的な取組
3	平成 26 年 2 月 25 日 (火) 午後 6 時～8 時	○施設一体型と施設分離型における具体的な取組 ○小中一貫教育実践校の役割
4	平成 26 年 6 月 2 日 (月) 午後 3 時～5 時	○定期的な乗り入れ授業実施報告 ○小中一貫教育実践校について
5	平成 26 年 7 月 28 日 (月) 午前 10 時～12 時	○特別支援教育における小中一貫教育 ○小中一貫教育実践校の取組
6	平成 26 年 9 月 2 日 (火) 午後 2 時～4 時	○今後の小中一貫教育校について ○小・中学校の組合せのさまざまな状況 ○小中一貫教育推進会議 議論のまとめ
7	平成 26 年 12 月 15 日 (月) 午後 2 時～4 時	○部会検討状況の報告 ○小中一貫教育推進会議 これまでの意見 ○ブロックの設定について
1	平成 27 年 7 月 27 日 (月) 午後 2 時半～4 時半	○今後の小中一貫教育校設置に関する考え方
2	平成 27 年 9 月 8 日 (火) 午後 2 時～4 時	○(仮称) 小中一貫教育推進方針 (たたき台)
3	11 月 16 日 (月) 午後 2 時 45 分～ 4 時 45 分	○小中一貫教育検証報告書の報告 ○(仮称) 小中一貫教育推進方針 (案)
4	12 月 21 日 (月) 午後 2 時 45 分～	○小中一貫教育推進方針 (報告)